

# 令和7年度一般選抜試験

## 学 力 試 験

### 数学，物理，化学，生物，日本史， 世界史，英語，国語

令和7年1月26日 9時30分—11時30分

#### 注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないこと。
- 2 各科目の問題は下記のページにある。

科目名	数 学	物 理	化 学	生 物	日本史	世界史	英 語	国 語
ページ	3～7	8～11	12～17	18～25	26～32	33～37	38～49	50～63

国語は順序が逆で63ページ(国語1)から始まり50ページ(国語14)で終わるので注意すること。

- 3 出願時に届け出た2科目の問題に解答すること。これに違反した解答は無効とする。
- 4 解答には黒鉛筆、黒色シャープペンシル又は黒色ボールペンを使用すること。
- 5 解答は解答用紙の所定の解答欄に記入すること。
- 6 解答用紙の指定欄に志望学科・コース、受験番号、氏名を記入すること。
- 7 解答の記入の仕方については、解答用紙並びに問題の初めに書いてある注意に従うこと。
- 8 本冊子の余白は計算・草稿用に使用してよい。ただし、切り離さないこと。
- 9 試験時間内の答案提出、退室は認めない。
- 10 問題冊子及び解答用紙は、全て回収するので持ち帰らないこと。

学 科 ・ コ ー ス		受 験 番 号							氏	
									名	

上欄に志望学科・コース、受験番号、氏名を記入すること。

# 世界史

- 1 問題〔1〕～〔5〕のうちから4問選択して、解答用紙に解答すること。
- 2 選択した問題の番号を解答用紙の選択問題番号欄に記入すること。

〔1〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

アジアとヨーロッパにまたがるユーラシア大陸は、地球全体の陸地の約4割を占めている。そして、その大陸には現在では約50億人の人々が暮らしている。そこでは、歴史上、多くの文明や帝国、民族の興亡がくり広げられ、東西の文化や人的物的交流が盛んに行われてきた。<sup>(ア)</sup>

2世紀ごろにはユーラシア大陸の東端と西端でそれぞれ帝国が繁栄し、それらを結ぶ交易路も発達した。大陸の東西を結ぶ主な交易路は3つある。そのうち最も北にあるのが「草原の道」である。この道が通る草原地帯では騎馬遊牧民族が活躍していた。そのなかでも有力な  や  が源流となり、西の帝国やヨーロッパにも侵入をくり返し、民族の大移動の震源となった。

その南には、中央アジアのオアシスを結ぶ「オアシスの道」がつくられた。この道は「シルク＝ロード」とも呼ばれ、ラクダをつれた隊商（キャラヴァン）はオアシス都市をたどりながら砂漠地帯を旅した。また、この道は織物や貴金属、香料などの商品のみならず、宗教や文化が伝播するための通路ともなった。タリム盆地と東の帝国をつないだオアシス都市・ では大規模な石窟寺院が造営された。

インド洋や南シナ海をつなぐ「海の道」は東西の帝国を海運でつないだ。2世紀ごろには  皇帝「大秦王安敦」の使節を名乗るものが日南郡に到達した。8世紀になるとダウ船を使って交易した  商人たちが海上に進出し、インドやイタリアの商人とともに活発に交易をくり広げた。東南アジアではこのような海上交易の中心地を首都とするいくつかの  国家が形成された。

問1 空欄  ～  に当てはまる語句を次から選び、記号で答えよ。

- |        |        |         |       |        |
|--------|--------|---------|-------|--------|
| a 敦煌   | b スキタイ | c ガンダーラ | d アラブ | e 匈奴   |
| f ムスリム | g 突厥   | h ローマ   | i 港市  | j ウイグル |
| k 領邦   |        |         |       |        |

問2 下線部(ア)について、次の語群の語句を全て使って、ユーラシア大陸で発生した古代文明の特徴と共通点を70文字以内で説明せよ。

語群

農耕                  都市                  交易

問3 下線部(イ)について、2世紀ごろユーラシア大陸の東端で栄えた帝国の名称を答えよ。

問4 下線部(ウ)について、4世紀ころ中央アジアからヨーロッパに移動して、ゲルマン人の大移動をうながした人々の名称を答えよ。

問5 下線部(エ)について、サマルカンドを中心として活動しイラン系の人々が用いた言語は中央ユーラシアの共通語として使用されたが、そのイラン系の人々の名称を答えよ。

問6 下線部(オ)について、前2世紀ごろ、南海貿易の拠点として現在のベトナム中部に日南郡を設置した中国の皇帝の名前を答えよ。

〔2〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

工業化社会の出発点である産業革命は、18世紀のイギリスから始まったが、その中心を担ったのは  工業の機械化であった。市場向け穀物増産を目的とした第2次  が大規模におこなわれ、土地を失った多くの農民は都市部へ流出し、 として働いて、産業革命に貢献した。

産業革命における一連の技術革新の中で最も重要なのが、 を動力源とした力織機による  工業の生産性の向上である。これがその後の化石燃料を中心とする経済活動への転換点となった。

イギリスの  製品はインドや中南米諸国へと輸出され、イランやオスマン帝国・エジプトなどにも大量に流入すると、これらの地域はヨーロッパ諸国への貴金属や農産物の供給源となり、新たな形で世界経済に取り込まれた。こうしてイギリスは当時世界最大の工業生産国として世界の工業化の先頭に立った。

問1 空欄  ～  に当てはまる最も適切な語句を答えよ。

問2 下線部(ア)について、資本主義と呼ばれる経済体制が確立するきっかけとなったが、資本主義とは何かについて45字以内で説明せよ。

問3 下線部(イ)について、1825年にスティーヴンソンが実用化したものとして適切なものを、次から一つ選び、記号で答えよ。

- a 蒸気機関車    b 木炭自動車    c 紡績機    d 蒸気船

問4 下線部(ウ)について、当時利用されていた主な燃料は何か答えよ。

問5 下線部(エ)について、イギリスは、その工業力を背景に、19世紀には世界の覇権を握ったが、その繁栄を何と呼ぶか、カタカナで答えよ。

〔3〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

ヨーロッパでは十字軍以降、アジアの富や文化に対する関心が高まっていた。13～14世紀の地中海では、イタリア諸都市の商人が活発に交易をおこない、地中海からジブラルタル海峡を抜けてフランス地方と直接交易するまでに活動の場を広げるようになった。交易品ではとくにアジア産の [ 1 ] が重宝されたが、東地中海に勢力を拡大していた [ 2 ] 帝国を經由して輸入されたため高価であり、[ 1 ] を直接手に入れる交易路の開拓は、魅力的な事業となった。とくにイベリア半島のイスラーム勢力を駆逐したポルトガル・スペイン両国は、いち早く海外に進出した。

ポルトガルは、「航海王子」 [ 3 ] のもとでアフリカ西岸の探検をおこない、さらに、アジア航路の開拓を目的に南大西洋へ探検隊を派遣した。1488年、バルトロメウ＝ディアスが喜望峰に、1498年には [ 4 ] がインドのカリカットに到達し、ヨーロッパとインドを直結する航路がはじめて開かれた。ポルトガルはインドのゴアを根拠地に様々なアジア物産を持ち帰った。さらに東アジアにも進出して、1557年にマカオの居住権を得て中国との交易の拠点としたほか、平戸を拠点に日本とも交易した。交易網はアジアのほぼ全域におよび、拠点にはカトリックの教会も設置され、カトリック改革の勢いに乗って布教もおこなわれた。

ポルトガルに遅れをとったスペインでは女王 [ 5 ] の後援を受けたコロンブスが、1492年にサンサルバドル島に到着した。この「発見」に刺激されて、各国の探検隊が同地に派遣された。他方スペインはアジア航路の探索も続け、マゼラン（マガリャンイス）の計画を支援した結果、彼の船隊は南アメリカ南端を経て、初の世界一周を達成した。

問1 空欄 [ 1 ] ～ [ 5 ] に当てはまる最も適切な語句を答えよ。

問2 下線部(ア)について、ヨーロッパ人の関心をかき立てた書としてマルコ＝ポーロの見聞をまとめた旅行記の名称を答えよ。

問3 下線部(イ)について、キリスト教徒によるイベリア半島の国土回復運動の名称を答えよ。

問4 下線部(ウ)について、次の①及び②について答えよ。

- ① 地球球体説をもとに、コロンブスの計画に影響をおよぼした天文・地理学者は誰か答えよ。
- ② コロンブスによるアメリカ大陸の到達を受けて、スペイン・ポルトガル両国が1494年に勢力圏を定めた条約を何と呼ぶか、名称を答えよ。

〔4〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

ヨーロッパを主たる戦場とした第一次世界大戦後は、1918年末、ドイツ共和国の臨時政府の代表・1 が連合国と休戦協定を結んで終わった。翌年、講和会議がパリで開催された。その際、アメリカ合衆国大統領の 2 は「十四カ条」を提起した。大戦により、ロシア帝国やオーストリア=ハンガリー帝国は解体され、いくつかの国が独立をはたしたが、その背景には、「十四カ条」<sup>(ア)</sup>をきっかけに広がった民族自決の理念があった。

そして、民族自決の理念は、ヨーロッパだけではなく、アジアにも大きな影響をおよぼした。1919年3月に日本統治下のソウルではじまったデモが朝鮮全土に拡大した。日本は、これらの運動を弾圧したが、<sup>(イ)</sup>その統治方針を武断政治から文治政治に転換した。中国でも、日本による「二十一カ条の要求」の取消や敗戦国ドイツの中国での権益の放棄などをもとめた運動が全土に広がった。<sup>(ウ)</sup>

当時、イギリスの植民地であったインドでも、大戦後のインド統治法やローラット法に抵抗する運動がはじまった。このような強硬な植民地統治に対して、非暴力を掲げた 3 に指導された民衆は抵抗運動を続けた。また、東南アジアでは、インドネシアやインドシナ、フィリピンなどでも欧米による植民地支配に対して、民族自決の運動が<sup>(エ)</sup>続けられた。

問1 空欄 1 ～ 3 に当てはまる最も適切な語句を答えよ。

問2 下線部(ア)について、民族自決や植民地支配をめぐる第一次世界大戦後の動きの説明として間違っているものを次から一つ選び、記号で答えよ。

- ① 戦敗国のドイツはアルザス・ロレーヌ地方をフランスに割譲した。
- ② 民族自決の原則は戦勝国のイギリスやフランスにも適用された。
- ③ 国家間の紛争の解決のために常設国際司法裁判所が設置された。
- ④ 戦勝国のなかには委任統治として戦前のドイツの植民地を引き継いだ国もあった。

問3 下線部(イ)について、この運動の名称を答えよ。

問4 下線部(ウ)について、この運動の名称を答えよ。

問5 下線部(エ)について、下表の①～④に当てはまる、第一次世界大戦前にインドネシアとインドシナを植民地支配していた国（宗主国）の名称と、植民地解放のための運動を進めた指導者名を答えよ。

	宗主国	民族運動の指導者
インドネシア	①	②
インドシナ	③	④

〔5〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

タカシ：数字の「0（ゼロ）」って、便利だけど、不思議だよな。

サトコ：そうそう、「0」がなければ、「マイナス」の考え方も成り立たないもんね。「0」があると、自然数だけの数学より、世界が広がるね。

タカシ：「0」が考え出されたのは、古代のインドだったと、このまえの世界史の授業で習ったけれど。「0」の考え方は、そのころの宗教が関係していたと先生は話されていたね。

サトコ：そうだったね。その宗教の影響を受けて、そのころのインドの支配階級たちは、数学だけでなく、天文学や医学も発展させてきたのだと、先生はおっしゃっていたね。

タカシ：きょうの世界史の授業では、この「0」の考え方や十進法が、9世紀ごろには、イスラーム世界に伝わって、イスラーム文明に影響を与えたって。さっきサトコさんがいった数字も、位取りがしやすいように発明されたって、すごいことじゃないかな。

サトコ：イスラーム世界も宗教の影響が強い社会だよな。宗教と数学や自然科学のむすびつきって、とっても面白いね。

タカシ：それだけじゃないよね。「0」の考え方や便利で使いやすい数字が、イスラームの影響を受けていたスペインなどを通して、ヨーロッパ世界につたえられるんだよね。

サトコ：そうそう。現代社会で主流になっているヨーロッパの科学や技術は、ギリシアやローマだけじゃなくて、イスラーム世界からも影響を受けてできあがっていくんだね。

問1 下線部(ア)について、その宗教が発展してインドの主要な宗教となったヒンドゥー教において、破壊と創造の神の名称を次から一つ選び、記号で答えよ。

- a ヴィシュヌ神    b シヴァ神    c アフラ=マズダ    d ブラフマン

問2 下線部(イ)について、インドの身分階層であるヴァルナのなかで、もっとも高い階層に属する司祭階層を何と呼ぶか答えよ。

問3 下線部(ウ)について、ここで11世紀ごろから盛んになった宗教的考え方で、禁欲的な修行により神との一体感を求めるような信仰のあり方を何と呼ぶか答えよ。

問4 下線部(エ)について、13世紀以来、イベリア半島を支配したナスル朝の首都であったグラナダに建設された建物の名称を次から一つ選び、記号で答えよ。

- a トプカプ宮殿            b ポタラ宮殿    c クノッソス宮殿  
d アルハンブラ宮殿

問5 下線部(オ)について、ニュートンが1687年に刊行した数学と物理学に関する主著の名称を答えよ。